

日野市生物多様性地域戦略の基本的事項

1. 目的

日野市は、市域の北側を多摩川、中央部を浅川が流れ、また市内各所に用水路が広がっているほか、湧水も多数点在するなど、「水の郷」と呼ぶにふさわしい環境にある。

また、多摩丘陵や崖線など自然度の高い緑や水田・畑などの農地が市内に点在しており、首都近郊に位置しながらも比較的豊かな生態系が維持されている。

かつては、人はこうした身近な自然環境の中で食住の糧を得て、そこに暮らす生きものと共生しながら暮らしてきた。このような中、幸いにも日野市においては、都市部では失われつつある自然環境や生物多様性は、ふるさと日野を愛する市民の皆さんの地道な保全活動と、市による多年にわたる環境施策の積み重ねによって現在の景観を維持している。

しかし、これらの取り組みにもかかわらず、都市化による緑被率や耕地面積、生産緑地面積の減少や水路の廃滅に歯止めがかからない現状がある。

このたび策定しようとする生物多様性地域戦略は、これまでの日野市の取り組みの成果を総括すると共に、「緑と清流のまち ひの」を持続可能なまちづくりの根幹に据え、将来にわたる日野市の目指すべき生物多様性の姿とそれを実現するための具体的な取り組みを示し、私たちが先人から引き継いだこの身近で大切な自然環境を次の世代にしっかりと伝え、どこにも類似しない日野らしいまちづくりを目指す計画として位置付け、本戦略を策定・運用していくものである。

2. 対象区域

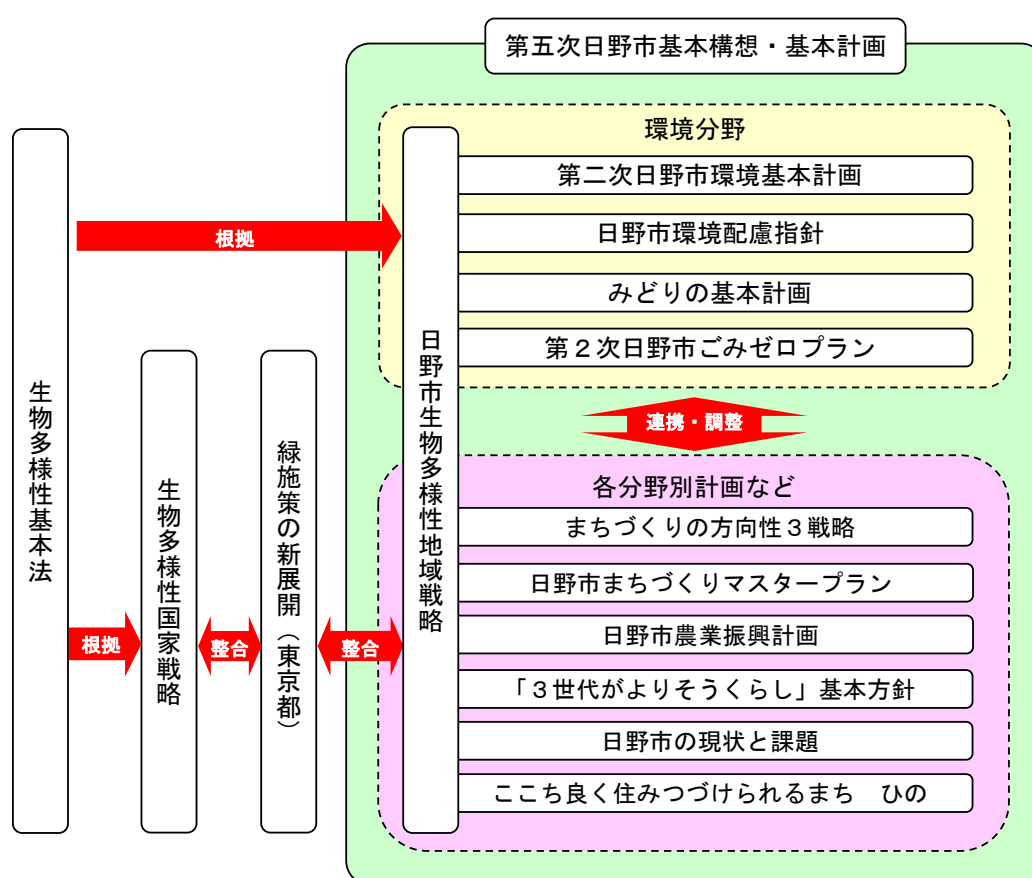
日野市全域

3. 既存計画との関係性

「第5次日野市基本構想・基本計画」、「まちづくりの方向性3戦略」、「第2次日野市環境基本計画」、「日野市環境配慮方針」、「みどりの基本計画」といった既存計画には、生物多様性に関連する施策が数多く挙げられています。

戦略策定ではこれらを精査し、生物多様性の観点を浸透させ、足並みをそろえることで、施策をやみくもに増やすのではなく、既存の施策をブラッシュアップする手法をとります。

・日野市生物多様性地域戦略の位置づけ



4. 主な既存計画の概要

4-1. 第5次日野市基本構想・基本計画

- ・将来都市像

ともに創ろう 心つながる 夢のまち 日野 ～水とみどりを受けつこう～

- ・まちづくりの柱

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 参画と協働のまち | 5. 自然と調和した環境に優しいまち |
| 2. 子どもが輝くまち | 6. 安全で安心して暮らせるまち |
| 3. 健やかでともに支えあうまち | 7. 地域の魅力を活かした活力あるまち |
| 4. 日野人・日野文化を育てるまち | |

4-2. 第2次日野市環境基本計画

- ・特徴

- ① 先人から受け継いだ水やみどりを、次の世代に引き継ぎます
- ② 確実に次の一歩を進めるための計画とします
- ③ 計画推進の基本原則：公民協働で環境保全を進めます

- ・望ましい環境像

私たちの継承した自然環境を保全し、次の世代に引き継ごう

- ・分野別目標

- 「みどり分野」…みどりの原風景をつなぐまち
- 「水分野」…水文化を伝えるまち
- 「ごみ分野」…ごみゼロのまち
- 「地球温暖化分野」…低炭素社会を築くまち
- 「生活環境分野」…心やすらぐ住みよいまち

4-3. みどりの基本計画

- ・基本理念

水音と土の香りがするまち ひの

- ・将来あるべき理想の姿～この計画の目標

- ① 市域面積の約 35 パーセントにあたるみどりを保全・創出
- ② 公園緑地の確保目標量は、一人当たり約 32 平方メートル
- ③ 市民団体やボランティアをネットワーク化する組織作りを目指す

4-4. まちづくりの方向性と3戦略

- ・3戦略

- ① 人口バランス・定住化促進戦略
- ② 産業立地強化・雇用確保戦略
- ③ ヘルスケア・ウェルネス戦略